

## サッカーの部

部 長	福井 慶一											
総 務	稲田 圭哉											
審判長	野川 友志											
審判員	都築 知紘	首藤 優輝	畠中 崇良	山崎 龍貴	益本 卓哉	瀨 裕介	吉良 俊彦	土江 智司	福井 大地	松尾 周	山崎 雄馬	森田 浩章
	志磨村悠斗	小谷 優太	近藤 駿	上岡 蓮	細川 真一	野口 和郎	宮本 康平	瀨田 涼介	都築 和紘	里見 珠梨	前田 敦也	山崎 育夫
	安松 晃史	遠藤 広大	高岸 大祐	藤田 英史	岩原 正朋	石本 侑平	北野凜太郎	岡下 洋介	長田 充世	石川 史弥	狩野 大輔	久保 智誠
	三井 利之	水田 諒	植松 晃平	中須 凌	大関 千弘	加藤 涼太	青木 翔太	水谷耕太郎	野村 綾彦	松岡 宏典	平岡 昌浩	高松 央
	橋本 哲哉	門田 萌	岩崎 啓	里見 岳哉	森本 稔	有澤 孝平	白木 琢也	酒井 寿宏				
救 護	20 日	土佐西南大規模公園		小橋 海 (片島)			朝比奈光代 (大方)					
	21 日	土佐西南大規模公園		梅原似衣菜 (佐賀)			弘田美奈 (宿毛)					
	25 日	野市ふれあい広場		梶原菜那 (香北)								
	26 日	野市ふれあい広場		三本萌菜美 (野市)								

- 競技方法
- (1) ノックアウト方式により優勝以下第3位まで決定する。
  - (2) 試合時間 30分-10分-30分
  - (3) 同点の時は、延長5分-5分を1回行い、なお決しない時は、PK方式により決める。

- 熱中症対策
- (1) WBGT=25℃以上の場合には1分間の「飲水タイム」を、WBGT=28℃以上の場合には3分間の「Cooling Break」を行う。
  - (2) 「飲水タイム」もしくは「Cooling Break」を設定する場合は、試合開始7分前の本部席集合時を目安に両チームにその旨を知らせる。
  - (3) 「飲水タイム」および「Cooling Break」の定義については、(公財)日本サッカー協会が策定した熱中症対策ガイドラインに示されたものに沿う。
  - (4) 「飲水タイム」はあくまでも飲水のための時間であるが、「飲水タイム」時に体を冷やす目的でスポンジとタオルの使用を認める。ただし「飲水タイム」時に、ミスト(霧吹き)を使用することやひしゃくでバケツの水をかけること等は、時間がかかるので認めない。
  - (5) 「飲水タイム」および「Cooling Break」とは別に、従来どおり、ボールがアウトオブプレーのときに、ライン上で飲水できる。
  - (6) 飲水に関し、ピッチ内・ベンチ内で水以外にスポーツドリンクを飲むことができる。
  - (7) 延長戦に入る前は、3分間のインターバルをとる。またPK方式で次回戦に進出するチームを決定する場合には、1分間のインターバルをとる。延長戦の場合、選手はベンチに戻り休憩することを許可される。

- 競技規則
- (1) 選手登録は18名とし、試合開始前に最大7名までの交代要員の氏名を主審に通告しておき、最大7名までの交代が認められる。(一度退いた競技者は再び出場することはできない。)
  - (2) 両チームの選手は、試合開始7分前に本部席前に集合し、背番号・氏名・スパイク・すねあて等のチェックをするが、不備な選手は入場できない。また、そのために試合開始を遅らせることはないので十分注意すること。チェックの後は、ピッチ内でボールを使用できる時間が確保される場合がある。
  - (3) テクニカルエリアを設け、ベンチ入りした役員(監督・コーチ)のうち、その都度1名がその範囲内で指示することができる。
  - (4) ベンチ入りできるのは登録選手18名、事前に登録された役員3名(合計21名以内)とする。試合中のアップについてはベンチ横のスペースで行う。ボールは使用禁止。外部コーチについては、コーチ証を身につけておく。
  - (5) 使用球は公認球(5号)とし、競技規則第2条に適合するものとする。
  - (6) 本大会において、退場を命じられた選手は、次の1試合に出場することができず、違反行為の内容によっては、大会の規律委員会(または、競技委員会等で規律委員会に変わるもの)でそれ以後の処置について決定する。
  - (7) 本大会期間中、警告は累積され、2回の警告を受けたものは、次の1試合に出場できない。
  - (8) 決勝戦における退場者は、四国大会の1回戦に出場できない。
  - (9) 県大会における退場による出場停止処分の未消化分に関しては、四国大会でも適用される。四国大会までのその他の公式戦(リーグ戦)でも消化されない。
  - (10) (公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則2023/2024」による。
  - (11) 試合中負傷者が出たとき、チーム役員は主審の許可があった場合のみ、2名までフィールドに入ることができる。ただし、治療のためではなく、負傷の程度を見て選手を運びだすためである。
  - (12) 天候不順等によるアクシデントのために試合が中断され遅れるなど、次試合開始に影響がある場合は、原則として全試合終了から20分後に次試合を開始する。なお、その際の試合開始時刻は本部よりチームに知らせる。(ピッチ内でのウォーミングアップの時間を10分程度確保する。)

- 留意事項
- (1) 選手は統一されたユニホームを着用し、背番号をつける。番号は1~99とする。ゴールキーパーは、他の選手と区別できる服装であること。
  - (2) ユニホームは各チーム正・副2着異なる色を用意すること。シャツに黒・紺は認められない。(日本サッカー協会のユニホーム規定による)
  - (3) 開会式は8:30分より大会本部前で行なう。参加チームは、第1試合目のチームとする。

四国大会出場資格 ※優勝・準優勝チームが四国大会(令和6年度愛媛県開催)に出場する。